



JA 福島さくら 概要 2023



JA 福島さくら



経営理念

農業の振興と 地域社会への貢献

～「緑の輝き」「地域の輝き」～

志賀 博之 福島さくら農業協同組合 代表理事組合長

より身近に、 より信頼されるJAづくりの実践

JA 福島さくらの経営方針

事業案内

組合長あいさつ

平成28年3月にJA福島さくらが誕生し、組合員の皆様に支えられ、今年で8年目を迎えることが出来ました。これもひとえに組合員をはじめ、地域の利用者、管内市町村並びに各関係機関の皆様のJA運営、事業各般にわたる深いご理解と、変わらぬご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当JAは「農業の振興と地域社会への貢献」～「緑の輝き」

「地域の輝き」～という経営理念の下、令和5年度は第3期中期3か年計画の2年度として、園芸ギガ団地の形成に向けた取り組みと農産物の海外輸出体制の再構築、農家応援団事業等のJA助成事業を有効活用したコスト低減対策を推し進めてまいります。今後とも「創造的自己改革」の重点課題である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組み、魅力あるJAを目指して、日々あらゆる事業に邁進してまいります。今後とも益々のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

福島さくら農業協同組合

福島県郡山市朝日二丁目14番7号



組合員数	役員数	職員数
総数 71,813 人	総数 45 人	1,192 人
正組合員 38,310 人	(理事) 40 人	
准組合員 33,503 人	(監事) 5 人	

事務所所在地	郡山市、田村市、田村郡三春町・小野町、いわき市、双葉郡広野町・楢葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村
--------	--

SDGs

当JAが掲げる「農業の振興と地域社会への貢献」という基本理念は、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」と共通します。SDGsはすべての国と人々が目指す共通の目標で、世界中の人々がそれぞれの活動を通して、持続可能な世界をつくることに取り組んでいます。当JAの特性を活かし、事業や活動を通じて組合員と地域の暮らしを守ることを目的に、SDGsの目標達成に寄与してまいります。

自己改革の実践

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標とし、「不断の自己改革」の実践に総力を挙げて取り組んでいます。当JA不断の自己改革の実践として、組合員に対する支店・事業所・各課において目標を掲げ取り組んでおります。



復興対策

東日本大震災・原発事故により被災された組合員が一人でも多く地元へ帰還し営農再開を果たすことが出来るよう、被災地域の復興加速を最優先課題として取り組んでいます。被災地域の営農再開支援・風評被害対策の取り組み・避難されている組合員への総合支援・原発事故に伴う損害の万全な補償対策等が主な取り組みです。



販売事業

安全・安心で信頼される農畜産物を安定的に提供できるよう、需要に応じた生産・販売体制の強化に取り組んでいます。地産地消運動を推進し、管内で生産された農産物を地域のみなさまに提供するため、直売所間産地リレーの運営など積極的に取り組み、農業者の所得向上を目指しています。



信用事業

組合員の皆様からお預かりしたお金を原資とし、農業資金や生活向上資金として融資しています。JAの信用事業は「JAバンク」として全国のJAと手を携えた「JAバンクシステム」により安全に事業を行っています。地域に密着した金融機関として利用者の利便性を維持するため、令和3年3月1日より「移動金融店舗さくらちゃん号」の運行を開始しました。



農業振興・営農指導

営農指導活動や担い手支援活動を通し、多様化・高度化する組合員ニーズに応え、生産支援の充実を図り、持続可能な営農を目指します。



購買事業

良質な生産資材や生活資材の供給、サービス向上と事務の効率化などにより経営基盤を強化し、経済事業改革に取り組んでいます。



福祉事業

地域に密着した福祉・医療サービスの提供により、利用者のご家族が笑顔に包まれ穏やかに暮らせる地域づくりのお手伝いをしています。

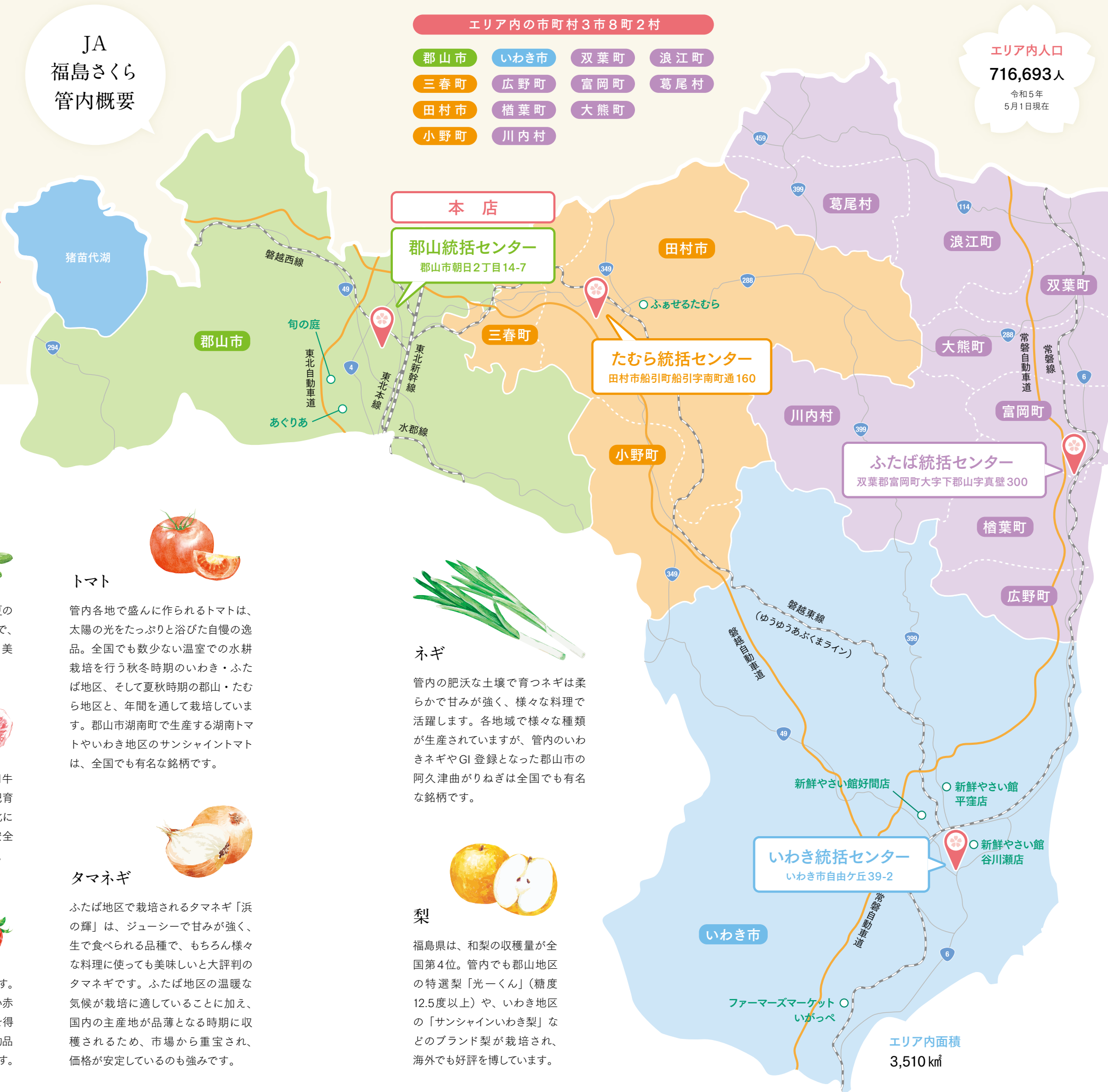
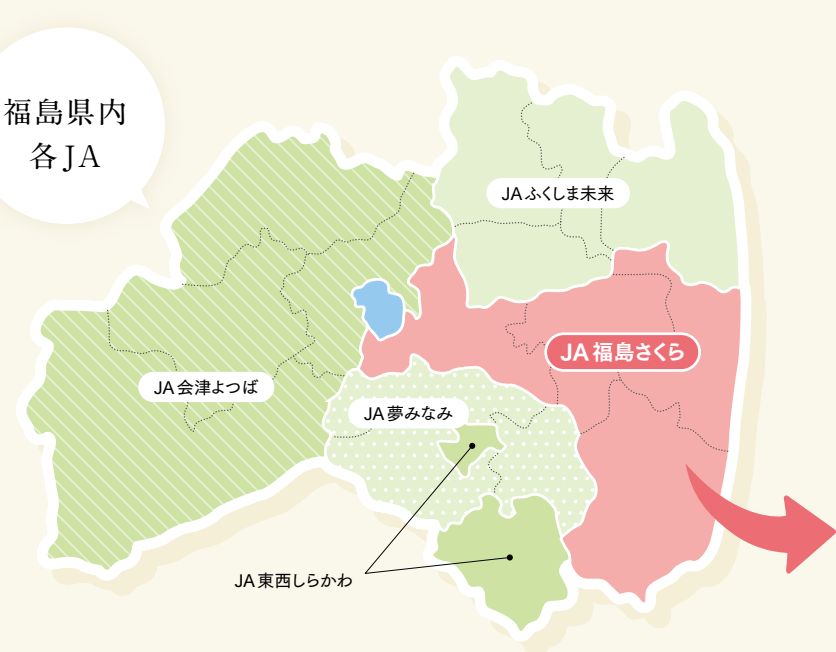


共済事業

JA共済は、相互扶助を事業理念としています。「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供し、組合員の生活を守っています。



エリア内人口
716,693人
令和5年
5月1日現在



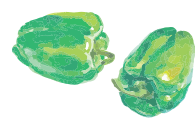
さくらの主要農畜産物



米

管内は豊かな気候風土に恵まれた日本屈指の米どころ。地域の特性を活かした米づくりが盛んに行われており、「コシヒカリ」「ひとめぼれ」「天のつぶ」などの銘柄米が生産されています。

また、日本一厳しい7つの生産基準を満たす福島県郡山産米最高級ブランド「ASAKAMA1887」や、太陽の恵みをたっぷり浴びて育ったいわき産コシヒカリ「Iwaki Laiki（いわきライキ）」は当JA自慢の米です。



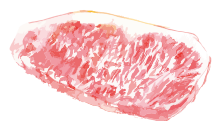
ピーマン

田村市・田村郡をはじめとする阿武隈高原ではピーマンの栽培が盛ん。管内で栽培されているピーマンは、甘みが強くやわらかいと高い評価を得ています。福島県トップクラスの収量を誇るピーマンは、お子さんでも丸かじりが出来る美味しさです。



キュウリ

郡山地区を中心に栽培されている夏の味覚。みずみずしく爽やかな味わいで、生のままはもちろん、漬物にしても美味しく頂けます。



牛

管内各地で和牛子牛の生産や肉用牛の肥育が盛んに行われています。肥育ブランドの維持拡大と生産基盤強化に向けた素牛預託事業に取り組み、安全で美味しい福島牛を生産しています。



イチゴ

管内各地でイチゴが生産されています。生産者が丁寧に作り上げる甘くて美しい赤い宝石は、冬の味覚として高い評価を得ています。いわき地区では福島県奨励品種「ふくはる香」を中心に栽培しています。



トマト

管内各地で盛んに作られるトマトは、太陽の光をたっぷりと浴びた自慢の逸品。全国でも数少ない温室での水耕栽培を行う秋冬時期のいわき・ふたば地区、そして夏秋時期の郡山・たむら地区と、年間を通して栽培しています。郡山市湖南町で生産する湖南トマトやいわき地区のサンシャイントマトは、全国でも有名な銘柄です。



タマネギ

ふたば地区で栽培されるタマネギ「浜の輝」は、ジュシーで甘みが強く、生で食べられる品種で、もちろん様々な料理に使っても美味しいと大評判のタマネギです。ふたば地区の温暖な気候が栽培に適していることに加え、国内の主産地が品薄となる時期に収穫されるため、市場から重宝され、価格が安定しているのも強みです。



ネギ

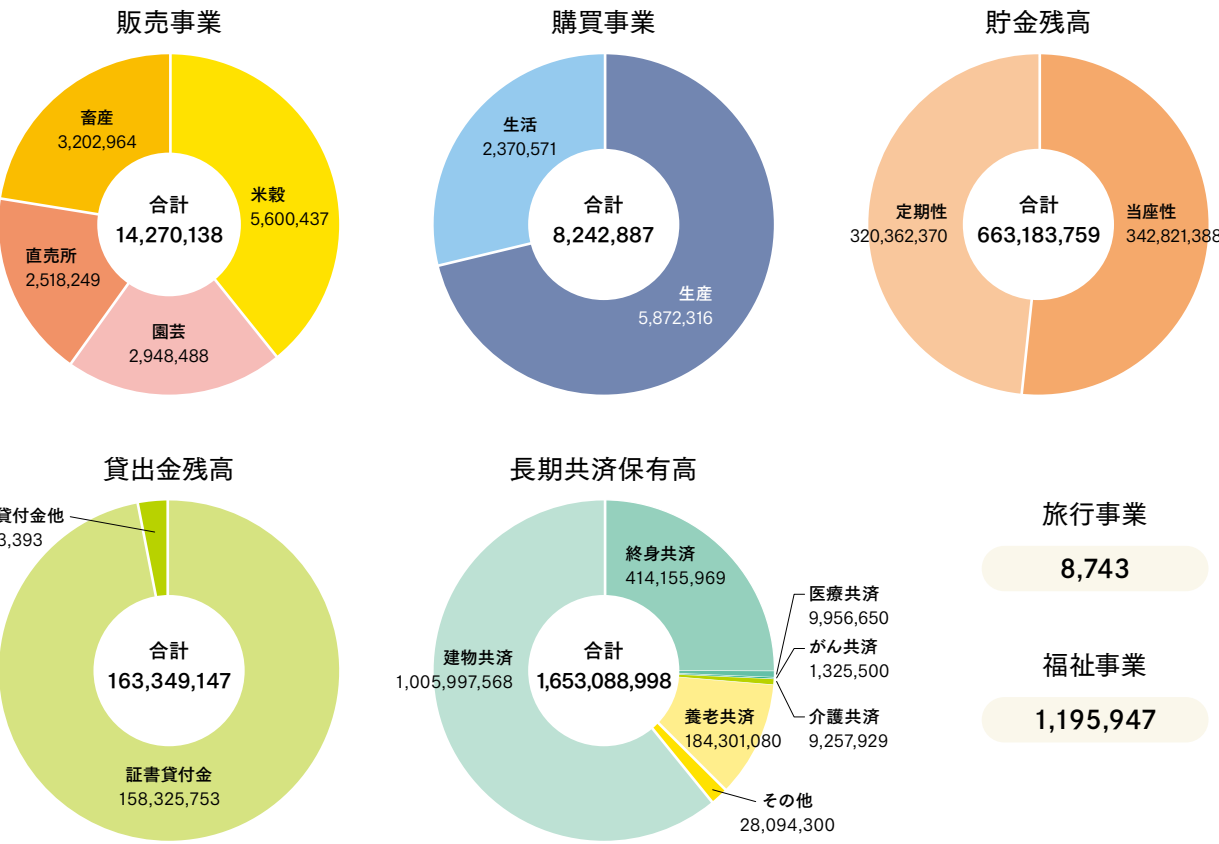
管内の肥沃な土壌で育つネギは柔らかで甘みが強く、様々な料理で活躍します。各地域で様々な種類が生産されていますが、管内のいわきネギやGI登録となった郡山市の阿久津曲がりねぎは全国でも有名な銘柄です。



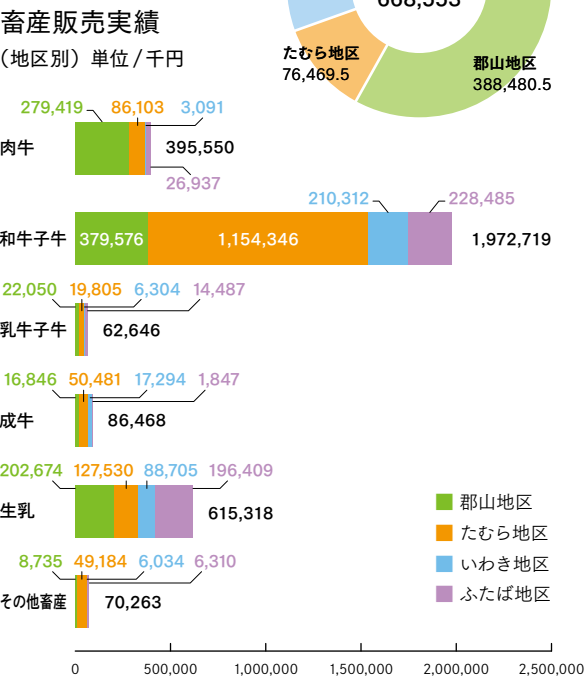
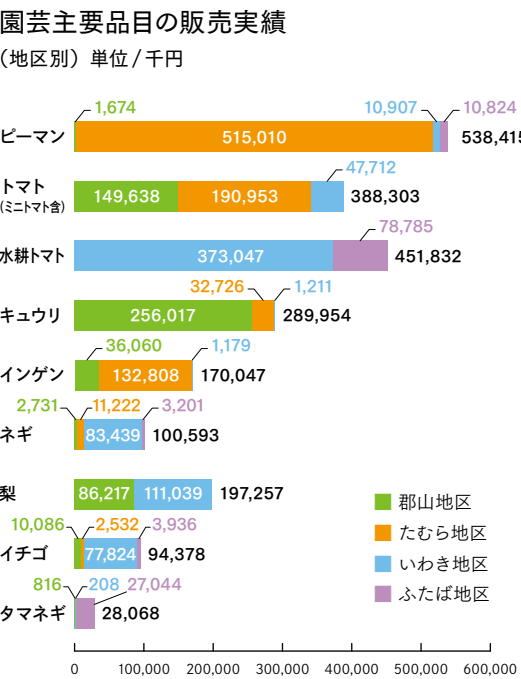
利木

福島県は、和梨の収穫量が全国第4位。管内でも郡山地区の特選梨「光ーくん」（糖度12.5度以上）や、いわき地区の「サンシャインいわき梨」などのブランド梨が栽培され、海外でも好評を博しています。

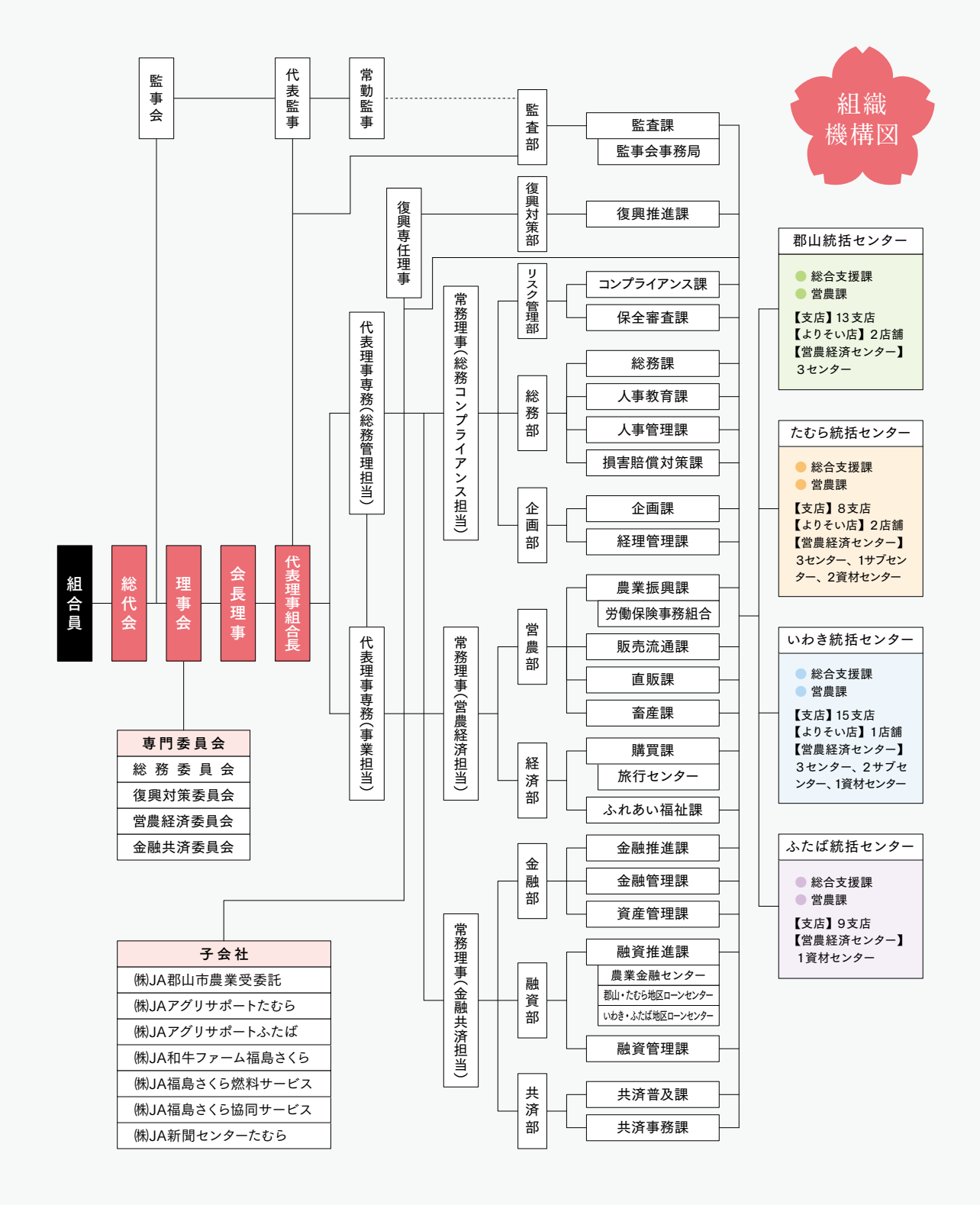
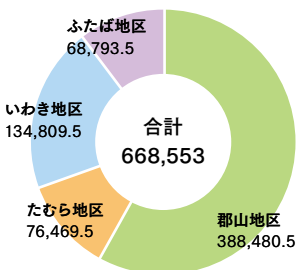
事業実績（単位／千円） ※端数未調整



農業基盤（令和5年2月末日現在）



米集荷実績数量（地区別）単位／俵数/60 kg



農産物直売所

- あぐりあ
- 旬の庭
- ふあせるたむら
- 新鮮やさい館谷川瀬店
- 新鮮やさい館平窪店
- 新鮮やさい館好間店
- ファーマーズマーケット いがっぺ

福祉センター

- 郡山福祉センター
- 日和田デイサービスセンターひなた
- は〜とらいふ八山田
- たむらふれあいセンター
- 小野ふれあいセンター
- は〜とらいふ船引
- は〜とらいふ三春

- は〜とらいふ小野
- は〜とらいふ小野・やまだ
- デイサービスセンターきらら
- いわき福祉センター
- 草野デイサービスセンター太陽
- いわき三和デイサービスセンター
- いわき南福祉センター
- JA デイサービスみなみ

歯科診療所

- JA 歯科診療所きらら歯科医院
- JA 歯科診療所めぐみ歯科医院
- JA 歯科診療所のぞみ歯科医院

農機センター

- たむら農機センター
- いわき農機センター

給油所

- 大熊給油所



上繁岡大堤の白鳥（檜葉町）



梅の里（郡山市）



フラワーセンターのロウバイ（いわき市）



夜ノ森 桜トンネル（富岡町）



安積疏水（郡山市）



白水阿弥陀堂（いわき市）



大鏡矢ふれあい公園（田村市）



郡山布引風の高原（郡山市）



湖南町の田んぼ（郡山市）



菊の里ときわのさる菊（田村市）



夏井川溪谷（いわき市）



猪苗代湖岸（郡山市）

JA 福島さくら概要2023

【編集・発行】令和5年6月16日 発行

福島さくら農業協同組合 編集事務局（企画部企画課）

〒963-8502 福島県郡山市朝日二丁目14-7

TEL.024-922-3733 FAX.024-923-8904



シンボルマーク

太陽をイメージした濃いピンク色の円はJA 福島さくらの象徴である「さくら」を照らし、福島豊かな自然を表す緑と水色はそれを包み込む。自然と共に歩む「JA 福島さくら」を意匠化しました。

沿革

- 平成28年3月 JA郡山市、JAたむら、JAいわき市、JAいわき中部、JAふたばの5JAが合併し、JA福島さくらが誕生
- 平成29年8月 ベトナムへ梨初出荷
- 平成30年3月 富岡農業資材センターが新店舗で営業再開
- 平成31年3月 (株)JA和牛ファーム福島さくら共同牛舎完成
- 令和元年5月 ふたば地区本部及び富岡支店が新店舗で営業開始
- 令和2年9月 小規模多機能型居宅介護施設「は～とらいふ小野・やまだ」オープン
- 令和3年3月 移動金融店舗車「さくらちゃん号」運行開始
- 令和4年3月 大熊町に大熊給油所リニューアルオープン
- 令和5年3月 浪江町育苗施設稼働開始



JA 福島さくら
イメージキャラクター

さくらちゃん

